

前橋市における美術館設置に向けた経過

【STEP1 前橋市における美術館基本構想（平成22年7月）】

○第6次前橋市総合計画（平成20年度～平成29年度）における位置づけ

前橋市収蔵美術作品の安全な保管を目的とした収蔵機能
常設展示機能、市民ギャラリー機能などの市民要望
美術館構想に向けたワークショップ開催

○3つの理念（コンセプト）

- ・つながる美術館（コミュニティ形成、ネットワーク機能）
- ・成長する美術館（市民が発揮する創造力を原動力とした成長する美術館）
- ・文化を作る美術館（未来への創造に寄与するアート活動の拠点）

【STEP2 前橋市における美術館基本計画（平成22年10月）】

○美術館基本構想の具体化に向けた活動、施設設備、運営体制等

- ・目的 アートでつながる市民の創造力
- ・理念 ①つながる美術館『「美術館」から「美術環」へ』
②成長する美術館『市民と創るプロセス』
③文化を創る美術館『前橋文化の醸成』
- ・事業 ①生涯学習・文化施設や作家、芸術文化団体、学校・商店街等との連携
アートと産業との連携促進、地域のデザイン力向上
②市民の創造性向上、アーティストの活動支援
創作活動・発表の場や芸術作品の鑑賞機会の提供
講座や教室、ワークショップなどの開催
③アートとの関わり方や楽しみ方を見つけるきっかけ
郷土ゆかりの作家作品の収集保管、調査研究
文学館や教育機関、市民連携で歴史・文化、自然、産業など体系的に調査
- ・運営 収蔵資料の管理・保管・収集・活用が安定的かつ確実にできること
事業活動の実現に必要な人員数と専門性を備えること
見識とリーダーシップを有した館長の登用すること
調査研究、事業を企画・実施する能力のある学芸員の人材登用・育成
市民と美術館コーディネーター、広報・マーケティング人材の配置
- ・施設 収蔵資料展示のためのギャラリー
絵画・彫刻・インスタレーションなどの展示ができる空間ギャラリー
エントランスホール（多目的スペース）、アーカイブスペース
サポーター室、会議スペース
収蔵庫（300㎡程度）
→市収蔵資料のうち特に貴重で安定環境の下で保管が必要な400点+α
一時保管庫（100㎡程度）
→企画展準備段階など借用資料を一時的に保管するスペース

【STEP 3 芸術文化施設のあり方に関する提言（平成24年7月）】

美術館基本構想、基本計画を基本に公聴会を開催、多くの声を提言として反映

○運営組織

- ・ 経営管理
 - 直営としてスタートを切り、その後の検討を行う
 - 館長は館運営として見識の高い人物
 - さらにサポートとして行政や経営に通じ、柔軟な民間感覚を併せ持つ人材登用
- ・ 企画運営、評価、推進を行う組織の検討
- ・ サポーターやボランティア、市民グループの育成を図る

○収蔵作品・収蔵庫

- ・ 収蔵作品の管理・調査研究を継続的に行い、体系化を行うこと
- ・ 優れた作品を継続的に収集し前橋の文化を体系的なものとして整備すること
- ・ 若手アーティストを育成し、収集していくことも必要
- ・ 収蔵作品を市民に公開し、体系的なコレクションに育て価値づけを行うこと
- ・ 収蔵作品は重要な文化財産であり、次世代に残すための保管設備が必要である
- ・ 市民の文化財産である収蔵作品を保存・管理するために活用すべきである
- ・ 前橋の芸術文化の価値を後世に繋いでいくために必要な設備である。

○地域貢献

- ・ 市内小中学生の来館を促す事業の実施
- ・ 収蔵作品に関する教育プログラムの実施
- ・ 学芸員やアーティストが学校に赴く出張授業の実施
- ・ 幼児期から創作の楽しさや感性を育む事業の実施

○情報共有

- ・ 次世代に向けた地域情報の共有・発信の新しいモデルケースを作り出す。

○地域連携

- ・ 近隣の公共・民間施設との相互協力
 - 前橋プラザ元気21、映画館（3階シネマハウス）、前橋文学館、
 - まちづくり・教育・文化グループ・団体との連携
- ・ 市外・県外からの来館者、隣接地域の芸術文化との連携活動

【STEP 4 前橋文化推進会議（平成24年9月～平成25年10月）】

「アーツ前橋」を市民の手によってアーツ前橋らしく準備する市民会議

- ・ 「アーツ前橋」開館に向けた「提言」の具現化・具体的検討。
- ・ アーツ前橋管理運営方針
- ・ プレイベント、内覧イベント、開館に向けた準備、広報活動
- ・ コミッションワーク
- ・ フレームワーク（組織構成）検討（運営評議会、市民文化事務局、市民企画委員会）
- ・ サポーター組織、メンバーシップ組織の検討
- ・ カフェ、ミュージアムショップの運営検討
- ・ 初年度予算の検討、設置条例・施行規則の確認